



平成27年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 クロスプラス株式会社

コード番号 3320 URL <http://www.crossplus.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本 大寛

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 虫鹿 宏

TEL 052-532-2211

四半期報告書提出予定日 平成26年9月16日

配当支払開始予定日

平成26年10月15日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第2四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第2四半期	32,690	△7.8	△1,862	—	△1,802	—	△1,580	—
26年1月期第2四半期	35,465	0.2	△3,129	—	△3,033	—	△2,160	—

(注) 包括利益 27年1月期第2四半期 △1,710百万円 (—%) 26年1月期第2四半期 △1,902百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第2四半期	△215.92	—
26年1月期第2四半期	△295.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第2四半期	31,231	12,831	12,831	14,614	41.1	1,753.42
26年1月期	37,202	14,614	14,614	—	39.3	1,997.16

(参考) 自己資本 27年1月期第2四半期 12,831百万円 26年1月期 14,614百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年1月期	—	20.00	—	10.00	30.00
27年1月期	—	10.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	△1.9	300	—	400	—	100	—	13.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年1月期2Q	7,718,800 株	26年1月期	7,718,800 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年1月期2Q	400,990 株	26年1月期	400,990 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年1月期2Q	7,317,810 株	26年1月期2Q	7,317,813 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
参考資料 個別業績・個別業績予想	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年2月1日～平成26年7月31日）におけるわが国経済は、政府や日本銀行の各種政策の効果などから輸出関連企業を中心に収益の改善が見られ、国内景気は、緩やかな回復基調となりました。

しかし、当アパレル業界では、一部の高額商品では消費増税に伴う駆け込み需要があったものの、4月以降は消費者の節約志向の根強さ、天候不順の影響等、個人消費は不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、グループの主力である当社製造卸売事業では、為替に影響されない体質作りのもと売上より利益を重視した販売に努めてまいりました。また立て直し中の㈱ヴェント・インターナショナルでは不採算店舗の撤退を進め収益改善に取り組んでまいりました。

製造卸売グループでは、大手得意先向けへの売場提案型トータル企画のPB（プライベートブランド）やライセンスブランドの活用など付加価値を高める販売手法で販売単価アップに取り組みました。また、採算性を重視した販売に努めたこと等で、売上高は276億94百万円（前年同期比8.4%減）となりました。一方、生産面では長期の計画生産の取り組みやアセアン生産と中国生産との最適化等に努めました。経費削減では出荷効率改善による物流費の削減を進めたことで収益改善が進みました。

SPAグループでは、ミセスSPA事業は百貨店向け卸売販売の強化を進めたことで増収となりました。また、ヤングSPA事業の㈱ヴェント・インターナショナルは前期から引き続き不採算店舗の撤退を進め経費削減による利益改善を進めてまいりましたが回復が遅れています。以上の結果、SPAグループの売上高は、50億41百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

これらの結果、連結業績は、売上高は326億90百万円（前年同期比7.8%減）、営業損益は18億62百万円の損失（前年同期は31億29百万円の営業損失）、経常損益は18億2百万円の損失（前年同期は30億33百万円の経常損失）、四半期純損益は15億80百万円の純損失（前年同期は21億60百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当社グループは、衣料品事業の単一セグメントでありますので、セグメント別の記載はしていません。

グループ別、販売チャネル別の売上高は以下のとおりです。

区 分		金額（百万円）	前年同期比（%）	
製造卸売 グループ	量 販 店	12,781	△10.4	
	専 門 店	11,572	△0.6	
	無 店 舗	2,407	△26.3	
	そ の 他	932	△11.5	
	製造卸売グループ 合 計	27,694	△8.4	
SPA グループ	ヤングSPA事業	直 営 店	2,113	△7.6
		そ の 他	448	△29.3
	小 計	2,562	△12.3	
	ミセスSPA事業	直 営 店	1,355	△8.4
		そ の 他	1,123	+23.6
	小 計	2,479	+3.8	
	SPAグループ 合 計	5,041	△5.1	
グループ 合 計	32,735	△7.9		
消 去	△45	—		
合 計	32,690	△7.8		

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は312億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億71百万円の減少となりました。

流動資産は198億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ55億49百万円の減少となりました。流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金が17億31百万円、受取手形及び売掛金が30億27百万円減少したことによります。

固定資産は113億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億21百万円の減少となりました。固定資産の減少の主な要因は、投資その他の資産が2億91百万円減少したことによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は183億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億87百万円の減少となりました。

流動負債は156億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億71百万円の減少となりました。流動負債の減少の主な要因は支払手形及び買掛金が62億11百万円減少し、短期借入金が23億円増加したことによります。

固定負債は27億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億15百万円の減少となりました。固定負債の減少の主な要因は長期借入金が1億51百万円減少したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は128億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億83百万円の減少となりました。純資産の減少の主な要因は利益剰余金が16億53百万円減少したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ17億24百万円減少し、25億32百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、36億67百万円(前年同期は使用した資金20億84百万円)となりました。これは、税金等調整前四半期純損失が18億71百万円(前年同期は税金等調整前四半期純損失29億29百万円)となり、売上債権の減少が29億23百万円(前年同期は35億34百万円の減少)となったものの、仕入債務の減少が62億7百万円(前年同期は25億98百万円の減少)となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、76百万円(前年同期は得られた資金1億85百万円)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が69百万円(前年同期は1億89百万円)となったものの、差入保証金の回収による収入が1億27百万円(前年同期は1億70百万円)となったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、20億34百万円(前年同期は15百万円)となりました。これは、短期借入金の増加が23億円(前年同期は11億円の減少)となったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成26年3月14日公表した平成27年1月期の連結業績予想に対し、売上高は10億円減少の770億円に修正いたしました。なお、営業利益、経常利益、当期純利益に変更はございません。

平成27年1月期の連結業績予想（平成26年2月1日～平成27年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 78,000	百万円 300	百万円 400	百万円 100	円 銭 13.66
今回修正予想(B)	百万円 77,000	百万円 300	百万円 400	百万円 100	円 銭 13.66
増減額(B-A)	百万円 △1,000	百万円 0	百万円 0	百万円 0	—
増減率	% △1.3	% 0	% 0	% 0	—
(ご参考)前期実績 (平成26年1月期)	百万円 78,490	百万円 △3,671	百万円 △3,499	百万円 △2,812	円 銭 △384.35

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,533	2,801
受取手形及び売掛金	13,848	10,821
電子記録債権	1,247	1,347
商品	4,721	3,544
貯蔵品	15	22
その他	1,036	1,316
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	25,399	19,849
固定資産		
有形固定資産	5,557	5,420
無形固定資産	168	175
投資その他の資産		
投資有価証券	3,895	3,963
その他	2,181	1,821
投資その他の資産合計	6,076	5,785
固定資産合計	11,802	11,381
資産合計	37,202	31,231
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,134	8,922
短期借入金	2,300	4,600
1年内返済予定の長期借入金	363	323
未払法人税等	28	15
賞与引当金	92	123
返品調整引当金	62	44
ポイント引当金	37	34
その他	1,573	1,557
流動負債合計	19,591	15,619
固定負債		
長期借入金	1,272	1,120
退職給付引当金	1,074	1,031
役員退職慰労引当金	407	424
その他	241	203
固定負債合計	2,995	2,780
負債合計	22,587	18,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,944	1,944
資本剰余金	2,007	2,007
利益剰余金	10,087	8,433
自己株式	△532	△532
株主資本合計	13,506	11,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	843	868
繰延ヘッジ損益	234	96
為替換算調整勘定	30	12
その他の包括利益累計額合計	1,108	977
純資産合計	14,614	12,831
負債純資産合計	37,202	31,231

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)
売上高	35,465	32,690
売上原価	29,504	26,225
売上総利益	5,961	6,464
返品調整引当金戻入額	100	62
返品調整引当金繰入額	38	44
差引売上総利益	6,023	6,483
販売費及び一般管理費	9,152	8,345
営業損失(△)	△3,129	△1,862
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	48	54
受取家賃	35	35
その他	65	22
営業外収益合計	156	117
営業外費用		
支払利息	10	15
貸貸収入原価	30	25
その他	19	17
営業外費用合計	60	57
経常損失(△)	△3,033	△1,802
特別利益		
固定資産売却益	185	—
特別利益合計	185	—
特別損失		
減損損失	32	68
事業整理損失引当金繰入額	12	—
事業整理損	33	—
その他	3	—
特別損失合計	81	68
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,929	△1,871
法人税、住民税及び事業税	13	19
法人税等調整額	△782	△310
法人税等合計	△769	△291
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,160	△1,580
四半期純損失(△)	△2,160	△1,580

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△2,160	△1,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	275	25
繰延ヘッジ損益	△45	△137
為替換算調整勘定	28	△17
その他の包括利益合計	258	△130
四半期包括利益	△1,902	△1,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,902	△1,710
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,929	△1,871
減価償却費	325	168
減損損失	32	68
受取利息及び受取配当金	△55	△59
支払利息	10	15
固定資産売却損益(△は益)	△185	-
売上債権の増減額(△は増加)	3,534	2,923
たな卸資産の増減額(△は増加)	374	1,166
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,598	△6,207
その他	△596	105
小計	△2,087	△3,689
利息及び配当金の受取額	51	56
利息の支払額	△11	△14
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△32	△19
その他	△4	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,084	△3,667
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△189	△69
有形固定資産の売却による収入	361	-
差入保証金の回収による収入	170	127
その他	△157	△134
投資活動によるキャッシュ・フロー	185	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,100	2,300
長期借入れによる収入	1,400	-
長期借入金の返済による支出	△136	△192
配当金の支払額	△146	△73
その他	△1	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	15	2,034
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	△15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,856	△1,724
現金及び現金同等物の期首残高	6,040	4,256
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,183	2,532

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

参考資料

平成27年1月期第2四半期の個別業績（平成26年2月1日～平成26年7月31日）

（％表示は対前年同期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
27年1月期第2四半期	28,703	△6.5	△1,131	—	△1,835	—	△1,563	—	△213.62
26年1月期第2四半期	30,686	8.5	△2,240	—	△3,028	—	△2,115	—	△289.03

平成27年1月期の個別業績予想（平成26年2月1日～平成27年1月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,500	△1.5	700	—	400	—	100	—	13.66

（注）直近に公表されている業績予想から修正の有無：有

平成27年1月期の個別業績予想（平成26年2月1日～平成27年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 68,000	百万円 700	百万円 400	百万円 100	円 銭 13.66
今回修正予想(B)	百万円 67,500	百万円 700	百万円 400	百万円 100	円 銭 13.66
増減額(B-A)	百万円 △500	百万円 0	百万円 0	百万円 0	—
増減率	% △0.7	% 0	% 0	% 0	—
(ご参考)前期実績 (平成26年1月期)	百万円 68,547	百万円 △2,093	百万円 △3,568	百万円 △2,750	円 銭 △375.88